



和

2018-2019

第12回例会

RIテーマ BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

クラブテーマ 『「和」を以って～夢を～』

会報 No. 1056 豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：西 崇秀 副会長：安田直樹 幹事：福井知裕 出席・会報委員長：長田徹也

平成 30 年 10 月 17 日(水) 19:00~21:00

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋4F ザ・テラスルーム 担当：理事会

ロータリーソング「我らの生業」/「四つのテスト」 唱和：白井 康仁 さん

ゲスト なし

出席報告	会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	9月26日修正出席率	ビジター
	46名	43名	4名	20名	53.49%	82.86%	26名

会長挨拶 西 崇秀 会長

10月13日土曜日に、小学生バレーボール愛知県大会が開催されました。今年最後の全国大会に向けての予選です。私のチームは今回も東三河で優勝し県大会へ出場いたしました。めでたく県で3位とすることができました。やっと、県の入賞を勝ち取ることができました。

神無月の由来は諸説ありますが、一つは、神無月の無を「の」と読み神の月といわれています。もう一つは、旧暦の10月に全国の神様が島根出雲大社に集まるので神様がいなくなることから神なし月という説。島根では神様が集まるため、神有月と呼ばれる神事が行われます。全国の神様が出雲に集まってしまうため神様不在の土地ばかりになってしまうと思われる方がいらっしゃるが、地域によって異なりますが、留守を守る神様がいます。代表的なのが、「恵比寿様」で、漁業商業農業の神様で神無月に恵比寿様に感謝する五穀豊穰商売繁盛を祈願するえびす講が各地で開催されています。神無月に、出雲大社に集まるのは、国をつかさどる「国津神」だけで、「天津神」高天原にいる神々や地上へ降臨した神々は集まらないといわれています。

本日は、インターアクトクラブ設立について、神頼みの例会です。

本日のプログラム

冒頭、西会長より、インターアクトクラブについて、その目的・一般的な活動内容・具体的な地区事業（年次大会、海外派遣、青少年フォーラム）に関する概略に加えて、当クラブがインターアクトクラブを設立した場合の費用負担（年間37万円程度）と事業費率（直近3年で14%程度）を勘案すると現在のままでも十分運営可能であるが、今年度、既に開始して成果のあがっている会員増強を強力に推進し、年初比で12名の会員を獲得すれば、その後一定となっても後々の期の事業に大きな影響を及ぼすことなく、持続的な運営が可能となること。また、立ち上げ先は当クラブとご縁の深い桜丘高校を想定し、「孫便りの会」と具体的な検討を進めていること。また、設立の後には、今年度会長・幹事に2名を加えて担当委員会を設立し、強力にバックアップしていく旨の説明があった。

その後各テーブル毎のセッションに移り、約20

分の討議の後、テーブル毎に発表があった。本件に関する会長の強い思いは十分感じるし、インターアクトクラブの設立は、青少年の健全な育成というわがクラブの設立趣旨にも合致している。また、桜丘学園は東北支援などを通じて信頼関係が醸成されており、パートナーとしては最適である等、総論としては積極的な意見があった。

しかしながら、いったんはじめるとやめるという選択肢はなくなる可能性が高く、韓国中央大学校からの留学生受け入れ事業の経験に鑑みると、果たしてわがクラブ単独の事業として持続可能であるかと言う点が不安である。また、また、たいへん大きな事業なので、「拍手」ではなく「投票」によって一人一人の意思を確認するというようなプロセスが、また、始める時は皆の熱意で出来るとしても、年とともに次第に意識は薄れてしまうので、「設立趣意書」のようなものを作成して、この思いを後世に伝えていく仕組みが必要ではないか、との慎重な意見もあり、引き続き議論を続けることとなった。



3分間スピーチ

山口 登 さん

私は、気になることや感動したことは手帳に書き留める習慣があり、意外にマメなところがあります。その手帳からご紹介します。一つは経営計画の心得3箇条（①おそれずに真似せよ、②完璧より速さ、③実印で覚悟を示せ）もう一つは高尾山薬王院有喜寺「つもり違い10箇条」（①高いつもりで低いのは教養、②低いつもりで高いのは気位、③深いつもりで浅いのは知識、④浅いつもりで深いのは欲、続いて、人情と面の皮、相性と我、分別と無駄につき記述）心にぐざりと来る方も多いのではないのでしょうか？

写真・原稿：角谷 歩 さん